

県議会最終日採決で否決、11万超県民の思い届かず 県民投票条例案に賛成21、反対35、退席1



14日：連合審査の委員会傍聴に入れず、ロビーのモニター画面を視聴する人々



15日：県民投票条例案に賛成して起立した県議 21人

2月21日の代表質問から始まった県民投票条例案に関わる県議会の審議は、多くの県民に注目されました。マスコミもかつてないほど県議会の動向を報道しました。県議会の真剣な論戦を「直接聞きたい」と、かつてない多くの県民が傍聴に来ました。

■3月14日の連合審査会（総務企画委員会と環境生活農林水産委員会）では、条例案請求代表者の多々良哲さんが意見陳述し、ほかに2人の参考人（武田真一郎氏・川村和徳氏）の意見陳述、委員による質疑、審議が続きました。傍聴席は38人限定のため、あふれた傍聴希望者が一階ロビーのモニター前に用意された椅子席で、午前も午後も、熱心に視聴しました。

■総務企画委員会での採決結果は6対3で否決でした。

■3月15日の15時から始まった本会議では、新年度の宮城県一般会計の予算案をはじめとする109の議案について、委員会

審議の報告を受け、採決が行われました。105号議案である「県民投票条例制定の請求について」は、賛成・反対の討論の後、採決され、否決されました。賛成＝みやぎ県民の声/共産党/社民党/無所属の会、反対＝自民党30/公明党4/21世紀クラブで、棄権は自民党会派1です。

■反対討論の主な内容は、①原発は国策、県民投票にはなじまない②立地自治体の意向を無視する③県民投票結果が議会の議論を制約する、知事・議会・市町町長が決めるべき④賛成・反対だけでは県民の意見を反映しない。さらに、公明党議員は「県民投票では、県民が情緒的感情的に流されるポピュリズムの負の側面が現れる」と言って、県民が自覚的に表明した署名をバカにした無神経な意見に傍聴席からブーイング。「投票をさせない」ため、自民・公明議員は、数の力で12万近い県民の思いを切り捨てました。

声明 「民意を形にし、力に変える」運動をさらに進めましょう！

3月15日、宮城県議会本会議にて、県民投票条例案が自民・公明の反対多数で否決されました。まことに残念です。とても悔しい思いです。議会と知事は、11万県民の願いを受け入れず、県民が意思表示する機会を奪った、その責任は非常に重たいと自覚していただきたい。この先まもなく、女川原発2号機再稼働に同意するの否か、知事と議会に問われるときが来ます。そのときに、どうやって県民の民意を聞き取り、どう回答を出すつもりなのか？ 県民投票を拒んだ議員と知事は、この重大問題に、自分たちが全面的に責任を負うと言ったことを意味します。その自覚と覚悟が、本当に彼らにあるのか、甚だ疑問です。私たちは今後も厳しく問っていきます。

この県民投票運動は、多くの県民の共感を呼び、広範な県民が参画する運動となりました。女川原発2号機再稼働問題が、多くの県民の関心事となり、問題意識を持つこととなりました。このことの意義は非常に大きい。立場表明や議論を避け、情報を与えず、ギリギリまで県民がこの問題に気付かないように、関心が向かないようにしよう、という思惑は崩れ去りました。

私たちは、今回の運動で、県民世論が私たちの側にあることを実感し、「民意は我にあり」を再確認しました。11万県民の署名によって、私たちが目指した「民意を形にし、力に変える」ことに、大きな手応えを得ることが出来ました。私たちは、今回の運動を土台にして、「民意を力とし、原発のことを決める」運動を、さらに広く大きく進めていきます。

一年余りに渡った県民投票運動にひと区切りがつかしました。ともに運動に取り組んでくださった県民の皆さん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

思いをひとつにして、ともに頑張った県内各地の皆さんとの繋がりができたことが、何よりの財産です。これからも、ともに頑張っていきたいと思います！

2019年3月16日 女川原発再稼働の是非をみんなで決める県民投票を実現する会

原発再稼働の是非は県民投票で！

11万県民の署名が 問いかけたもの

みんなで決める会「原発」県民投票運動 報告集会

私たちは、女川原発再稼働の是非を問う県民投票実現を求めて、「県民投票条例制定」を求める直接請求署名運動にのみ、受任者のみなさんの協力を得て、2ヵ月間で11万1,743人の有効署名が集められました。各府県を審査する県議会には付いていないとされ、連日、傍聴席が県民で埋め尽くされました。何故、こんなにも多くの県民の共感を呼び、多くの県民が参画する運動に発展したのでしょうか？ この運動のよさをみんなで確認し、それでも再稼働が否決された意義を考え、これからの運動をいかに進めていけばよいか？ がいかに考え、意見交換しましょう。



- ◆映像でふりかえる一年
- ◆県民投票運動のまとめ
- ◆県議会議員から
- ◆県内各地域から
- ◆会場のみならず

2019年4月14日(日)
午後1時30分～3時30分

仙台弁護士会館4F
仙台市青葉区一番町2丁目9-18

主催：女川原発再稼働の是非をみんなで決める県民投票を実現する会（みんなで決める会）
HP：022-724-7627 fax: 022-724-7629 E-mail: kenningakimeru@gmail.com
FB: <http://minnadekimeru.jp/> Twitter: [@minnade_kimeru](https://twitter.com/minnade_kimeru)
Facebook: <https://www.facebook.com/女川原発再稼働の是非をみんなで決める県民投票を実現する会>

14日(日)午後、報告集会にご参加ください。

放射能汚染廃棄物処分に関わる県内の状況

大崎市では、10月15日から試験焼却開始を公表し、約6000トンの廃棄物を市内3ヶ所にある焼却場で焼却する予定。焼却処分場周辺の住民が、覚書や協定すら無視して焼却を強行するのは違法、と広域行政事務組合に対して、試験焼却中止と予算の執行を差し止めを求める住民訴訟を起こした。次回裁判は、3月27日15時から仙台地裁で。

加美町では、8000Bq以下を7500トン抱えており、県内最多。400Bq以下の1150トンをすき込みするように農家に説明を始めた。3000トンある400Bq以上の処理方針は未定。

栗原市では、放射能汚染廃棄物について、「堆肥化」で処理しようとしているが、候補地の住民は、水源であることや説明に納得できない、と反対している。住民は、計画を白紙に戻し、行政、議会、住民、市民の意見交換を積み重ね、合意形成を行うこと、長期の視点で予防措置（余計な被曝は避ける）の立場で安全、安心な方策を示すことなどを栗原市に要望している。

黒川郡3町村では、2000Bq以下の汚染廃棄物583.6トンのうち、25.1トンを昨年試験焼却で処理。大和町・大衡村の廃棄物は、焼却と農地還元で終了。大郷町では、町長が焼却ではなく、農地還元の意向と発言し、焼却は回避される見込み。



県南部2市7町では、住民説明会の場で、仙南地域広域行政事務組合が、「今年の試験焼却は問題がなかった」と宣言し、この5月から7000トンの本焼却を強行予定。焼却灰の最終処分場（白石市）での環境汚染、空気・水の汚染による健康被害、さらなる放射能汚染の拡散をさせない、と運動が広がっている。

県内には、2011年3月の福島原発事故による放射能汚染被害がまだまだ未解決のまま残っています。汚染地域を広げるな！減容して隔離保管の実現を、求めて、8年以上過ぎた今も、ねばり強い運動が続いています。

原発・放射能・子ども・平和関連の企画など、各地・各団体のとりくみ 女川原発再稼働STOP！放射能汚染ゴミ焼却 埋め込み反対！さらに強く大きな声をあげよう！

◆脱原発デモ・金曜デモなど

- * 旧古川地域：大崎 demo 金曜デモ 毎週金曜 17時半・あさひ中央公園集合後デモ
- * 塩釜地域：塩釜さん発デモ・金曜 17時半下馬駅裏宮城民医連事業協前集合後デモ出発
- * 岩沼市：「原発ゼロ戦争させない岩沼歩き隊」毎月第3金曜日 14時岩沼駅東口広場で集会後デモ
- * 仙台長町地域：第3水曜12時半～原発も戦争もNO！たいはくアクション・仙台長町・蛸薬師境内集会後デモ
- * 脱原発みやぎ 金曜デモ仙台中央部 「女川原発再稼働するな！子供を守れ！汚染はいらない！みやぎ金曜デモ」

3/24(日) 勾当台公園野外音楽堂14時～3.11から8周年！女川原発再稼働をやめよう！

(発言者)女川原発再稼働の是非をみんなで決める県民投票を実現する会(みんなで決める会)代表 多々良哲さん
／県内の放射能汚染廃棄物焼却問題からの発言／14:30デモ出発

4/5(金) 4/12(金) 4/19(金) = 18:10集合18:30デモ出発

4/28(日) = 14:00集合14:30デモ出発すべて勾当台公園野外音楽堂



- ◆3月24日(日)10時～憲法9条こわすな！泉のついで！あなたと私の、そして「世界中の子どもたちのために」 於・イズミティ21展示ホール
講演「生きづらい時代と憲法」池田香代子さん(九条の会世話人・ドイツ文学者) 主催・3.24憲法9条こわすな！泉のついで実行委員会
- ◆3月25日(月)12時～13時「女の平和」ピースアクション 街頭宣伝署名行動
- ◆3月29日(金)18時半～みやぎ弁護士9条の会講演会「改憲の論理 護憲の理屈」参加無料
- ◆4月5日(金)15日(月)25日(木)9時12時～13時「女の平和」ピースアクション 街頭宣伝署名行動
- ◆4月5日(金)～11日(木)「福島は語る」上映 仙台駅東口にある映画館チネ・ラヴィータで上映
- ◆4月7日(日)13時半～「女川原発の再稼働は許さない 廃炉も課題がいっぱい」講師 岩井 孝氏(日本科学者会議原子力問題研究委員会委員長)
於・仙台市福祉プラザ1F 資料代あり 主催:原発問題住民運動宮城県連絡センター・UPZ住民の会
- ◆4月14日(日)13時半～みんなで決める会「11万県民の署名が問いかけたもの」県民投票運動報告集会 於・仙台弁護士会館
- ◆4月17日(水)18時～「安倍改憲を日独比較から読み解く—危機とチャンス—」講師・廣渡清吾氏(東京大学名誉教授)
主催・東北女性弁護士9条の会 於・仙台弁護士会館4F
- ◆4月20日(土)14時～市民交流シンポジウム「韓国市民運動から学ぶ平和へのステップ」於・仙台弁護士会館 資料代500円 主催・実行委員会
第一部・基調講演：イ・ジュンギ氏 第二部・北東アジアの平和はどう作る？
- ◆4月27日(土)14時～「子どもの権利条約から見た日本の教育の課題」主催民主教育をすすめる宮城の会 於・フォレスト仙台2F第7会議室
講師・世取山洋介さん(新潟大学准教授・子どもの権利条約市民・NGO報告書をつくる会事務局長 参加費500円)
- ◆5月3日(金)13時～5.3 憲法を活かす宮城県民集会 於・仙台国際センター
講演:石井曉さん(共同通信社編集委員)「戦争法後の自衛隊の変質と安倍改憲の真の狙い」
主催:宮城憲法会議・憲法をまもる市民委員会・宮城県護憲平和センター・みやぎ9条懇話会
- ◆5月26日(日)仙台子どもまつり 於・仙台市三神峯公園
- ◆6月8日(土)東日本大震災復興復興みやぎ県民センター総会
- ◆6月8日(日)13時～「変えよう！アベ政治 ストップ！改憲発議 6・9宮城県民大会」於・仙台市錦町公園 主催・県民集会実行委員会
- ◆7月4日 参議院選挙公示～7月21日投票